

# 成田スカイアクセスと沿線の街 あすの成田国際空港と注目の千葉ニュータウン

山内 世界の空港アクセスの横軸に都心までの距離、縦軸に鉄道の移動時間をとると、成田空港は距離的には近くはないですが、さほど遠くもないのです。しかし今まで既存の鉄道路線を使っていたので、どうしても時間がかかりました。今度の成田スカイアクセスの所要時間は36分ですから、やっとならば世界標準になったといえます。

渡辺 物理的にも心理的にも遠い成田がぐんと近くなりました。さらに先生がこれから成田に取り入れたいと思われれるものは。

山内 移動時間も重要ですが、例えば最も新しい香港の国際空港は鉄道へのアクセスがよくて、到着ロビーを進むとそこに鉄道の列車が待っている設計になっています。日本の中部国際空港はそんな設計になっていませんね。成田を香港のように改修するのは難しいですが、バリアなく鉄道に乗れば随分印象が変わると思います。成田スカイアクセスの日暮里駅はJRの協力で乗り換えがしやすくなりました。これからソフトの面でさらに工夫があればと思いますね。

渡辺 新型スカイライナーのデザインや機能、設備の魅力はどうでしょうか。

劇的に改善されることになりました。いまは外環道や圏央道など首都圏の環状道路の整備も進んでいますから、そのネットワークも活用できるようになります。私に通っていた高校は市川にあったので、北千葉地域にその頃の友達がたくさんいます。彼らの顔が目に浮かんで(笑)、便利になって良かったなと思っています。

渡辺 これから成田スカイアクセス沿線の千葉ニュータウンも、空港関連企業がさらに誘致されるでしょうし、それによって地域の人口も増えていくのでしょうか。

山内 私が一時住んでいたワシントンD.C.とダラス空港間の街も、ダラスアクセス道路ができて様変わりしました。空港へのアクセスが良いところは、住宅はもちろん、企業のオフィス系、研究・生産系、物流系などの立地が進みます。千葉ニュータウンも同様な条件が整いました。試算によりますと成田空港が30万回発着すると、周辺部で11万人の雇用が生まれるということです。

渡辺 これからの快適な都市づくりには、景観をどうするかも大事なことでしょね。

山内 ダラスアクセス道路は、緑が



**渡辺 真里**  
わたなべ まり  
フリーアナウンサー  
1967年神奈川県横浜市生まれ。国際基督教大学(ICU)教養学部卒業。1990年に入社したTBSを1998年3月に退社。同年5月よりテレビ朝日「ニュースステーション」のキャスターとして出演。現在、フジテレビ「熱血!平成教育学院」(日曜19:00~)、テレビ東京「地球VOCE」(金曜21:54~)、TBSラジオ「JOMO presents 渡辺真里のこたげ遺産~未来に伝えたいあの一言~」(月曜17:50~)に出演中。他にも雑誌連載「我ら劇場主義」(週刊ポスト)、「渡辺真里の読書日和」(ROSALBA)など執筆活動も行っている。

山内 山本寛齋さんのデザインですね。京成のフラッグシップトレインという意気込みで、風にと、凛というコンセプトのもと、非常にシンプルでシャープになりました。こういったデザインのインパクトや話題性も重要で、競合するJRの成田エクスプレスも負けずに新型車輛をデビューさせました(笑)。新型スカイライナーの色はブルーと白で、赤と白の成田エクスプレスとは対照的です。

渡辺 乗ってみたいというお子さん達も多いですよ。

山内 そうでしょう。在来線の列車では最高の時速160kmを出す区間がありますから乗っても楽しいし、走る姿も魅力的ですからね。

### 評価が高まる千葉ニュータウン

渡辺 成田スカイアクセス沿線地域「東京成田SKYGATEシティ」の中心を担う千葉ニュータウンはすでに人口約9万人を数えます。評判のいい住宅地ですが、ここにお住まいの方の通勤時間が短縮されるという効果もあるのではないですか。

山内 それが大きいですね。新型ス

多くてとてもきれいです。千葉は元々緑が多い。成田空港開港時に海外からのお客に印象を聞いたら、先進国・工業国の日本とは思えないほど緑が多いという評価でした。いまは橋のデザインや看板まで含めて景観づくりが進んでいます。ますます磨きをかけなければと思います。

渡辺 日本という国の第一印象がつかれますからね。千葉ニュータウンには東京電機大学や東京キリスト教学園などがありますが、大学とまちづくりも大事なテーマですね。

山内 私の大学は関東大震災の被災によって神田からいまの国立に移転し、地域といっしょになって計画的にキャンパスや街をつくってきました。80年経ちましたが、国立は日本を代表する大都市と評価され、景観的にも機能的にも大学が街に溶け込んでいると思います。

渡辺 私はICU国際基督教大学東京三鷹ですが、地域によくマッチしていて素敵なキャンパスライフを送らせていただきました。学生と街と人々との一体感がありましたね。

山内 ICUはきれいな大学ですね。千葉ニュータウンにある大学も、これから時間を経るにしたがって、景

カイライナーだけでなく一般特急なども運行されますからね。日本の通勤ラッシュの厳しさは、生産性の低下も招きかねませんから、都心へのアクセス改善は評価されるでしょう。

山内 要するに費用対効果です。時間の短縮、快適性、経済へのインパクト、この鉄道と道路がモデルケースになるといいですね。

渡辺 成田スカイアクセスと北千葉道路は、どんな背景で、どのように構想されたのでしょうか。

山内 あの地域は1970年代から千葉ニュータウンとして開発されてきたのですが、初期は陸の孤島でした。しかし北総鉄道が建設され都心と直結するようになり、それが延伸されて成田新高速鉄道(成田スカイアクセス)になったのです。しかし道路は16号線しかなく、また東関東自動車道にも遠くまで地域の発展を阻害していたのです。それが鉄道延伸計画とあわせて将来を見越して用地が確保されていた北千葉道路の建設が進展し、道路のアクセス機能が

観的にも文化的にも地域に貢献していくのではないのでしょうか。

渡辺 最後になりますが、千葉ニュータウンのポテンシャルはどうでしょうか。

山内 千葉ニュータウンのある北総台地は、そもそも地盤が強固で安定しています。災害にも強いということですから早くから先端企業のバックアップセンターが多く立地しています。成田空港はさらに機能が充実しますし、成田スカイアクセスや北千葉道路も開通し、これからは単にイメージでなく、実質的な評価が高まっていくのではないのでしょうか。

渡辺 安全安心は立地に欠かせない条件です。セキュリティの確保は、企業にとっても住む人にとっても最大の魅力です。千葉ニュータウンは今後ますます発展する街と考えると間違いないことですね。本日はありがとうございました。

**CHECK!**  
成田スカイアクセスの開業でますます注目を浴びる街 千葉ニュータウンについて17ページより特集しています。